

こたえと かいせつ

Q 46 室町時代に、守護大名が領地を支配するために独自に定めた法律を何というでしょう？

こたえ 3 分国法

幕府の法律だけでなく、それぞれの領国の実情に合わせて、家臣の統制、年貢の徴収、商工業の奨励、喧嘩の禁止など、様々なルールを定めました。有名な分国法には、今川氏の「今川仮名目録」や武田氏の「甲州法度之次第」などがあります。御成敗式目は鎌倉幕府の法律、武家諸法度は江戸幕府が大名統制のために定めた法律です。

Q 47 室町時代に、農民たちが自分たちの村を守り、運営するために作った自治的な組織を何というでしょう？

こたえ 2 惣（惣村）

惣または惣村は、室町時代に発達した農民による自治的な村落組織です。農民たちは寄合を開いて村の掟を決めたり、年貢の納入を村全体で請け負ったり、用水路の管理を共同で行ったりしました。時には、領主の支配に抵抗して、団結して一揆を起こすこともありました。惣の形成は、農民の地位向上や村落の自治意識の高まりを示す重要な動きでした。

Q 48 安土桃山時代に栄えた、城郭建築や障壁画（襖絵）に代表される、豪華で壮大な文化を何というでしょう？

こたえ 3

桃山文化は、織田信長や豊臣秀吉が活躍した安土桃山時代（16世紀後半～17世紀初め）に栄えた文化です。戦国大名や大商人たちの権力や富を背景に、雄大で豪華、そして人間味あふれる点が特徴です。代表的なものに、姫路城のような壮大な城郭建築（天守閣）、狩野永徳（かのうえいとく）らが描いた金箔地に鮮やかな色彩を用いた障壁画（襖絵やすぎ戸絵）、千利休（せんりのきゅう）によって大成された茶の湯などがあります。

Q 49 豊臣秀吉が、農民が一揆を起こすのを防ぎ、武士と農民の身分をはっきり分ける（兵農分離）目的で行った政策は何でしょう？

こたえ 2

刀狩は、1588年に豊臣秀吉が全国に出した命令で、農民や寺社などが持っている刀や槍、鉄砲などの武器を取り上げる政策です。表向きの理由は、方広寺（ほうこうじ）の大仏を作るための釘やかすがいに使うということでしたが、本当の目的は、農民が一揆を起こすのを防ぎ、武器を持つことを武士の特権とすることで、武士と農民の身分を明確に分けること（兵農分離）にありました。これにより、社会の安定と支配体制の強化を図りました。

Q 50 江戸幕府が、大名を統制するために定めた、大名が守るべき様々な決まりを記した法律は何でしょう？

こたえ 2

武家諸法度は、江戸幕府が全国の名目を統制するために制定した基本的な法律です。1615年に二代将軍・徳川秀忠のときに初めて出され、その後、将軍が変わるたびにしばしば改定されました。内容には、学問や武芸に励むこと、勝手に城を修理しないこと、大名同士で勝手に結婚しないこと、参勤交代の義務などが定められていました。これに違反した大名は、領地を取り上げられるなどの厳しい処罰を受けました。

Q 51 江戸時代に、庶民の子どもたちが読み書きや計算（そろばん）などを学んだ、民間の教育施設を何というでしょう？

こたえ 1

寺子屋は、江戸時代に都市や農村で広く普及した、庶民の子どもたちのための初等教育機関です。僧侶、神官、武士、町人などが師匠（先生）となり、主に読み方、書き方、計算（そろばん）などを教えました。教科書には、往来物（おうらいもの）と呼ばれる手紙の文例集などが使われました。寺子屋のおかげで、江戸時代の日本の識字率（文字の読み書きができる人の割合）は、当時の世界の中でも高い水準にあったと言われています。

Q 52 江戸時代中期に、オランダ語を通じてヨーロッパの進んだ学問や技術を研究した学問を何というでしょう？

こたえ 3

蘭学は、江戸時代に、鎖国政策のもとで唯一交易が許されていたオランダを通じて、日本に入ってきた西洋の学問や技術を研究した学問のことです。主にオランダ語の書物を翻訳することから始まり、医学、天文学、地理学、物理学、化学など、様々な分野に及びました。杉田玄白（すぎたげんぱく）らが翻訳した医学書『解体新書（かいたいしんしょ）』は特に有名で、日本の医学の発展に大きな影響を与えました。

Q 53 江戸時代後期に、日本の古典（古事記や万葉集など）を研究し、仏教や儒教が伝わる前の日本古来の精神や文化を明らかにしようとした学問は何でしょう？

こたえ 2

国学は、江戸時代中期から後期にかけて興った学問で、外国（特に中国）の影響を受ける前の、日本固有の精神や文化を明らかにしようとする研究です。賀茂真淵（かもまぶち）や本居宣長（もとのおりのなが）らが代表的な学者です。彼らは、『万葉集』や『古事記』などの日本の古典を深く研究し、古代の日本人の考え方や生き方を理想としました。国学の考え方は、幕末の尊王攘夷運動にも影響を与えました。

Q 54 江戸幕府の財政難を立て直すために、8代将軍徳川吉宗が行った改革を何というでしょう？

こたえ 3

享保の改革は、江戸時代中期の1716年から1745年にかけて、第8代将軍・徳川吉宗によって行われた幕政改革です。財政再建を主な目的とし、質素節約の奨励、新しい税として上米の制（あげまいのせい、大名に米を献上させる代わりに参勤交代の負担を軽減）の実施、新田開発の奨励、目安箱（庶民の意見を聞くための投書箱）の設置、公事方御定書（裁判の基準となる法律）の制定など、多方面にわたる改革を行いました。

Q 55 江戸時代の後期、1837年に、元大阪町奉行所の役人で陽明学者の大塩平八郎が、貧しい人々を救うために起こした反乱を何というでしょう？

こたえ 2

大塩平八郎の乱は、1837年（天保8年）に、大阪で元与力であった陽明学者の大塩平八郎とその門弟たちが起こした武装蜂起です。当時、天保のききんによる米価の高騰で多くの人が飢え苦しんでいましたが、大阪町奉行所が適切な対策をとらず、豪商たちが米を買い占めていることに憤慨した大塩が、「救民」の旗を掲げて立ち上がりました。反乱は一日で鎮圧されましたが、元幕府の役人が起こした反乱として、幕府や社会に大きな衝撃を与えました。

Q 56 明治時代に、国民の政治参加や自由を求める「自由民権運動」の中心人物で、「民撰議院設立建白書」を政府に提出した土佐藩出身の政治家は誰でしょう？

こたえ 3

板垣退助は、土佐藩（現在の高知県）出身の政治家で、明治維新で活躍しましたが、征韓論（朝鮮に武力で開国を迫る考え）をめぐる政府を去った後、自由民権運動の指導者となりました。1874年に、後藤象二郎と共に、国民が選んだ議員による議会（民撰議院）の設立を求める「民撰議院設立建白書」を政府に提出し、これが自由民権運動の始まりとなりました。彼は自由党を結成し、国民の政治参加の権利を求めて活動しました。

Q 57 1877年に、西郷隆盛を中心とする鹿児島藩の士族たちが、明治政府に対して起こした最後の、そして最大の士族反乱を何というでしょう？

こたえ 1

西南戦争は、1877年に、明治維新の功労者の一人である西郷隆盛を指導者として、鹿児島藩の士族たちが明治政府に対して起こした武力反乱です。明治政府の近代化政策によって特権を失った士族たちの不満が背景にありました。政府は徴兵令による国民軍を派遣し、約半年にわたる激しい戦いの末、反乱を鎮圧しました。これは日本国内における最後の本格的な内戦であり、これ以降、不満は言論による運動（自由民権運動など）へと向かうことになります。

Q 58 1889年（明治22年）2月11日に公布された、日本の最初の近代的な憲法は何でしょう？

こたえ 2

大日本帝国憲法（または明治憲法）は、1889年2月11日に公布され、翌1890年に施行された日本の最初の近代的な憲法です。伊藤博文らが中心となり、主にドイツの憲法を参考に作られました。天皇が国の元首であり統治権を持つ（天皇主権）と定められ、国民は「臣民」として、法律の範囲内で権利が認められました。また、帝国議会（貴族院と衆議院）が開設されました。この憲法は、第二次世界大戦後の1947年に日本国憲法が施行されるまで続きました。

Q 59 明治時代に、不平等条約を改正するために尽力し、1911年に関税自主権の完全な回復を達成した外務大臣は誰でしょう？

こたえ 2

小村寿太郎は、明治時代の外交官・政治家です。日露戦争後のポーツマス条約交渉で日本の全権を務めたことでも知られています。彼の大きな功績の一つが、幕末に結ばれた不平等条約の改正です。外務大臣として交渉にあたり、1911年にアメリカとの間で日米通商航海条約を改正し、関税自主権を完全に回復することに成功しました。これにより、日本は欧米列強と対等な国際的地位を確立しました。

Q 60 栃木県の足尾銅山から流出した鉱毒によって、渡良瀬川流域の農作物や住民の健康に深刻な被害が出た公害事件で、被害民の救済を訴え続けた政治家は誰でしょう？

こたえ 1

田中正造は、明治時代の政治家です。栃木県の足尾銅山から排出された鉱毒が渡良瀬川（わたらせがわ）を汚染し、流域の農作物や漁業、住民の健康に甚大な被害をもたらした足尾銅毒事件の解決に、生涯をかけて取り組みました。彼は議会を政府や経営者の責任を追究し、被害民の先頭に立って運動を展開しました。議員を辞職した後も、天皇への直訴を試みるなど、公害問題の深刻さを訴え続け、日本の公害闘争の先駆者とされています。